

授業科目

教育社会制度論I

担当教員名 吉田 重和	対象学年	2	対象学科	健栄・スボ・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

価値観が多様化・複雑化している現代社会において、学校教育を中心とする教育制度もまた、多様化・複雑化してきている。現代社会において、子どもの教育の質を保障するための仕組みが制度的・行政的にどのように確立されているかを受講者が理解することを、本科目の目標とする。

授業の目的

本科目は、教職課程「教職に関する科目」の一科目である。教育の基礎理論に関する科目として、教育に関する社会的・制度的・経営的事項を中心に取り扱い、受講者の教職に関する学術的素養の伸長を図ることを目的とする。

学習目標

1. 現代教育の諸問題の傾向性と特徴について、統計指標を踏まえた上で説明できる。
2. 現代の公教育の制度的枠組みと理念について、成立の歴史的背景を踏まえて説明できる。
3. 現代教育の制度的・行政的運用実態について、複数の観点から課題を含め説明できる。
4. 学校経営について、基礎的な知識を持つとともに、具体的な実践例を知る。
5. 教職員の職務・サービスと教員評価について、基礎的な知識を持つとともに、具体的な実践例を知る。
6. 児童・生徒の管理に関する基礎的な知識を持ち、具体的な実践例を知る。
7. 指定課題文の読解とグループワークを通して、教育制度上の様々な問題について、その概要とポイントを理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション／現代教育の諸問題	講義	吉田 重和
2	現代の公教育制度	講義	吉田 重和
3	教育法制	講義	吉田 重和
4	教育行政	講義	吉田 重和
5	学校経営と学校評価	講義	吉田 重和
6	教育課程経営	講義	吉田 重和
7	教職員の職務・サービスと教員評価	講義	吉田 重和
8	児童と生徒の管理	講義	吉田 重和

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	現代教育の制度と行政	河野 和清	福村出版	2008年	2,300円+税	
	現代教育制度論	土屋 基規	ミネルヴァ書房	2011年		
その他の資料	必要に応じて資料を配布					

評価方法

ワークシート・小レポートの内容（25%）、定期試験の結果（75%）により評価する。

履修上の留意点

本科目を履修するにあたっては、「教職概論」（1年次前期）、「教育原理（教育史、教育課程の意義含む）」（1年次後期）を履修していることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

連絡先：yoshida@nuhw.ac.jp（吉田重和／0515）

オフィスアワー：第1・第3水曜日 昼休み